令和7年度 防府市環境意識調査報告書

防府市生活環境部環境政策課

1 調査の概要

(1)目的

市民と事業者の環境に対する意識(現状認識及び行動)を把握し、今後の環境施策の参考とするために実施。

(2)調査の頻度

5年に1回を目安に実施(前回は令和3年度)。

(3) 実施状況

下記の表のとおり。

区分	市民意識調査	事業所意識調査	
調査対象	18歳以上の 市民1,000人	従業員4人以上の 市内300事業所	
抽出方法	住民基本台帳から 無作為抽出	商工会議所名鑑に掲載された 事業所から無作為抽出	
調査票の配布・ 回収方法	調査票を郵送で配布、郵送またはオンライン回答にて回収 (令和3年度:回収は郵送のみ)		
回答方法	設問ごとの選択肢に○をつける		
調査実施期間	令和7年6月27日~7月31日 (令和3年度:令和3年11月26日~12月24日)		
回収結果 (有効回収数、 有効回収率)	357人、35.7% (令和3年度:446人、44.6%)	173事業所、57.7% (令和3年度:168事業所、53.7%)	

(4)集計方法

単純集計。

(5)調査結果の見方

- ・比較のために前回(令和3年度)の調査結果を併記している
- ・回答者によっては回答をしていない設問があるため、各設問の回答数の合計が、上記の表の有効回収数と一致しないことがある
- ・図表の数値(%)は、少数点第2位以下四捨五入のため、合計が100%にならないことがある

(6)回答者の構成

〇市民意識調査

•年代別(令和7年度 n=354, 令和3年度 n=433)

	令和7年度	令和3年度
10歳代	1.1%	1.6%
20歳代	7.3%	7.9%
30歳代	10.2%	10.6%
40歳代	14.4%	14.1%
50歳代	14.4%	15.0%
60歳代	15.8%	20.6%
70歳代	22.3%	23.1%
80歳代以上	14.4%	7.2%
合計	100.0%	100.0%

〇事業所意識調査

・業種別(令和7年度 n=172, 令和3年度 n=177)

	令和7年度	令和3年度
建設業	20.3%	20.9%
製造業	19.2%	13.0%
卸売業	11.6%	11.9%
サービス業	10.5%	9.6%
小売業	9.9%	15.8%
運輸業	8.1%	5.6%
医療・福祉	5.2%	5.1%
飲食店・宿泊業	3.5%	6.2%
不動産業	1.7%	2.3%
金融・保険業	1.7%	1.1%
教育・学習支援	1.2%	0.0%
情報通信業	0.6%	1.1%
農林漁業	0.0%	0.0%
その他	6.4%	7.3%
合計	100.0%	100.0%

・従業員数別 (パート・臨時を含む) (令和7年度 n=168, 令和3年度 n=162)

	令和7年度	令和3年度
9人以下	39.9%	48.8%
10~29人	26.2%	29.6%
30~49人	12.5%	8.0%
50~99人	9.5%	8.0%
100~299人	8.9%	3.7%
300人以上	3.0%	1.9%
合計	100.0%	100.0%

2 結果の概要

(1) 市民意識調査

1 デコ活の周知度・実践度

デコ活(COOL CHOICE から移行)を知っている人の割合は 26.4%と高くありませんでしたが、一方で、デコ活の取組事例を実践している人の割合は 64.5%と高く、多くの市民が脱炭素につながる新しい暮らしに取り組んでいることが分かりました。

2 家庭での再生可能エネルギーや省エネルギーの設備の導入度

設備をすでに導入している/導入を予定、検討している人の割合が、LED 照明は約9割となり、多くの家庭で導入されていることが分かりました。その他の設備では、割合が高い順に、節水機器(約6割)、高効率給湯器(約5割)となり、これらの設備も比較的導入がすすんでいることが分かりました。

3 日常生活や防府市の環境の現状

比較可能なほぼ全ての項目で、前回調査と比べて肯定的な意見の割合が高い、あるいは同等の結果になり、環境への意識が高まっていることが分かりました。一方で、質問の文言が変わったので単純比較はできませんが、できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動するようにしている人の割合が前回調査と比較して低くなっており、エコ移動の促進が課題であることが明らかになりました。

4 言葉の認知度

カーボンニュートラル、SDGs の 2 つの言葉について、約 4 割の人が内容も知っていると回答しました。いずれも前回調査と比べて高くなっており、認知度が高まっていることが分かりました。

(2) 事業所意識調査

1 CO₂削減につながる取組への意識 約半数の事業所が意識して取組を行っていると回答しました。

2 事業所での再生可能エネルギーや省エネルギーの設備の導入度

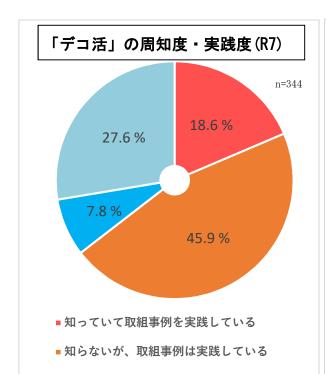
設備をすでに導入している/導入を予定、検討している事業所の割合が、LED 照明は約9割となり、導入がすすんでいることが分かりました。その他の設備では、建物外皮の高断熱化(約3割)、次世代自動車(約3割)、太陽光発電システム(約2割)の順で割合が高い結果でした。

3 事業活動や防府市の環境の現状 全体として、前回調査と同等の結果でした。

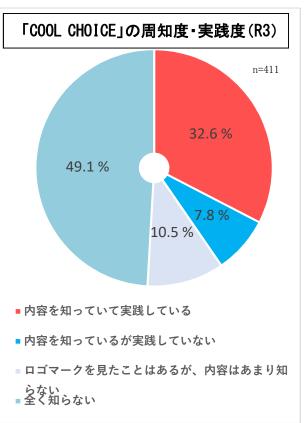
3 回答結果

(1) 市民意識調査

1 あなたは、国が提唱する脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活 ※1」(COOL CHOICE から移行)について知っていますか。また、その取組事例 ※2 を実践していますか。

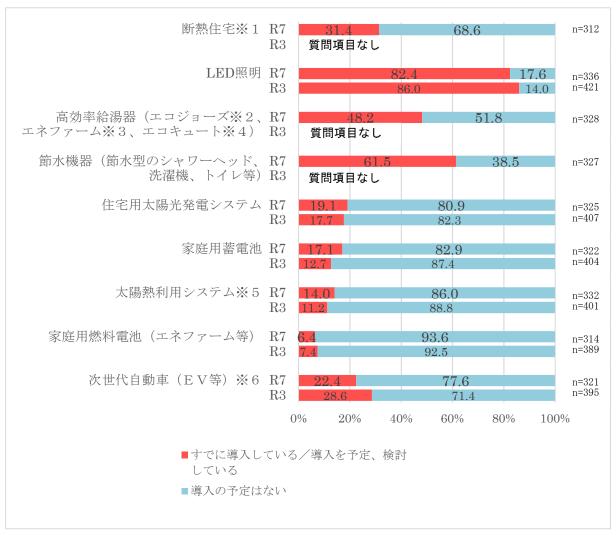


- ■知っているが、取組事例は実践していない
- ■知らないし、取組事例も実践していない



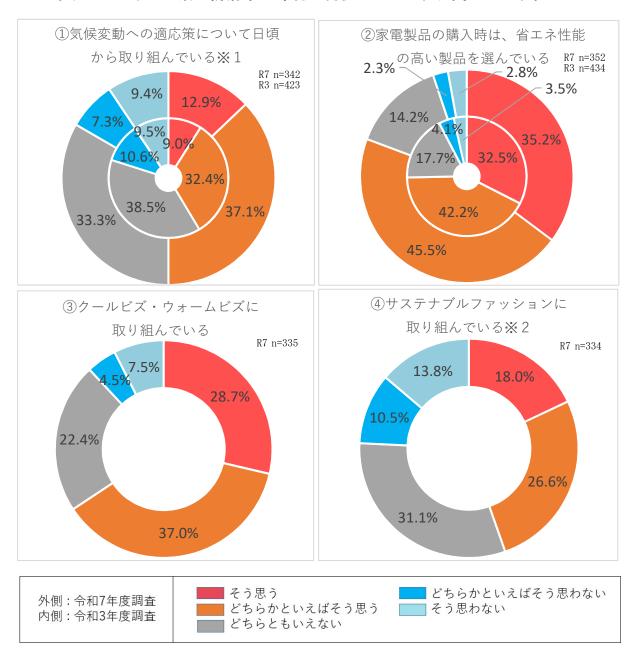
- ※1 デコ活:「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし」を紹介し、ライフスタイルを大きく変えようという国民運動。暮らしを豊かにしながら脱炭素に取り組む新しい試み。デコ活の愛称は、「脱炭素 (Decarbonization) で二酸化炭素 (CO2) を減らす」ことや、「環境にやさしいエコ」をかけた"デコ"と、活動や生活の"活"を組み合わせてできている。
- ※2 デコ活の取組事例:電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む/LED・省エネ家電などを選ぶ /食品の食べ切り、食材の使い切りテレワーク/高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ/環境 にやさしい次世代自動車を選ぶ/太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる/クールビ ズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む/ごみはできるだけ減らし、資源とし てきちんと分別・再利用する/地元産の旬の食材を積極的に選ぶ/できるだけ公共交通・自転 車・徒歩で移動する/はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う/宅配便は一 度で受け取る 等

2 あなたの御家庭で、次表の再生可能エネルギーや省エネルギーの設備のうち、導入している、又は導入を検討しているものはありますか。

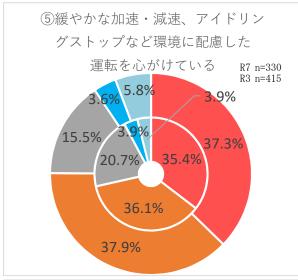


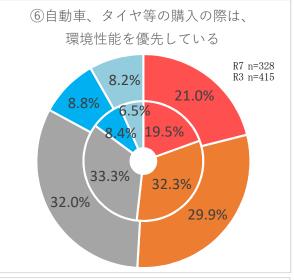
- ※1 断熱住宅:住まいの窓や壁等を熱を伝えづらいものにすることで、室内外への熱の出入りを抑えた、冷暖房の使用量をおさえることができる住宅
- **※2 エコジョーズ**:給湯器がガスを燃焼させてお湯を沸かす際に出る廃熱を再利用してお湯を 温める給湯器
- ※3 エネファーム: 都市ガスや LP ガスから取り出した水素と空気中の酸素を化学反応させて電気を作り出すとともに、発生する熱も給湯などに利用する家庭用燃料電池
- **※4 エコキュート**:自然の空気中にある熱を集め、その空気を圧縮し高温にすることで水を温める給湯器
- ※5 太陽熱利用:集熱器、蓄熱槽、熱輸送系、熱交換器、断熱材などの技術を組み合わせて行う、太陽のエネルギーをもとにした熱利用
- **※6 次世代自動車**:電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料 電池自動車、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

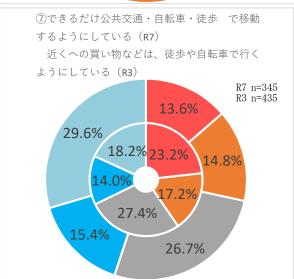
3 あなたの日常の生活や防府市の環境の現状について、お聞きします。

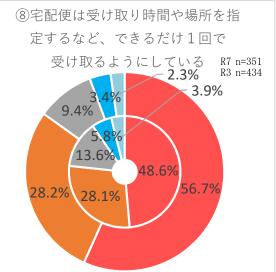


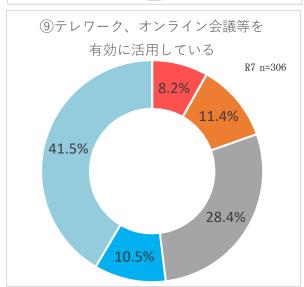
- ※1 気候変動への適応策:気候変動(地球温暖化等)の影響による被害を予防・軽減するための対策のこと【例:豪雨や猛暑日等の警報や予報を常に得るようにし、熱中症対策、防災マップの確認、災害時の助け合い等について隣近所で話し合う、など】
- ※2 サステナブルファッション: 衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取組【例: 今所有している服を長く着る、服をリメイクする、資源としてリサイクルする、など】

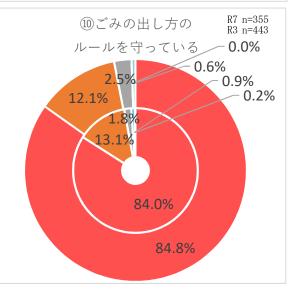




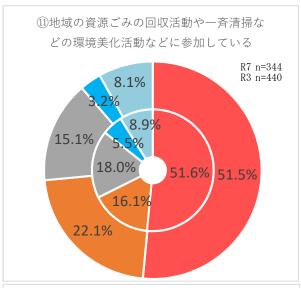


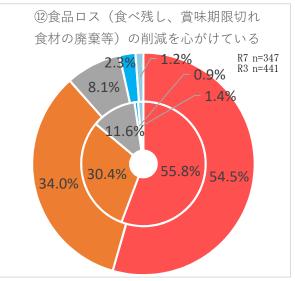


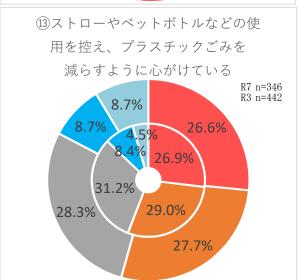


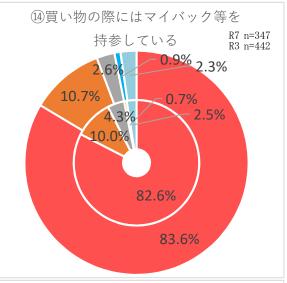


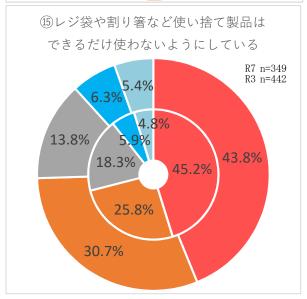
── そう思う ── どちらかといえばそう思う ── どちらともいえない

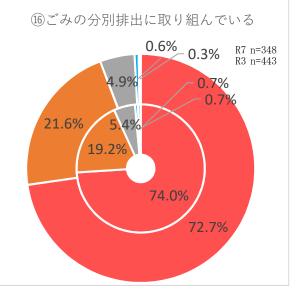




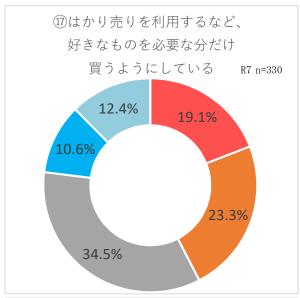


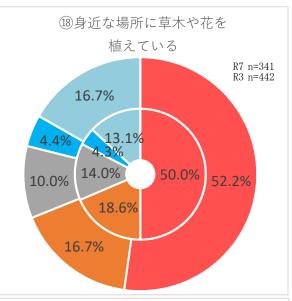


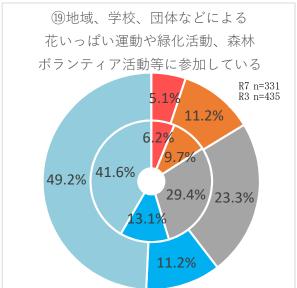


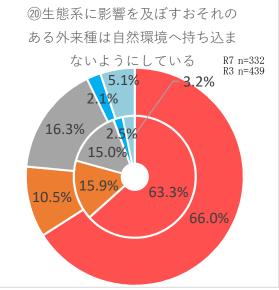


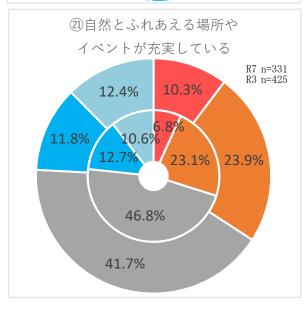
── そう思う ── どちらかといえばそう思う ── どちらともいえない

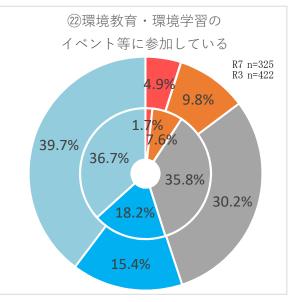






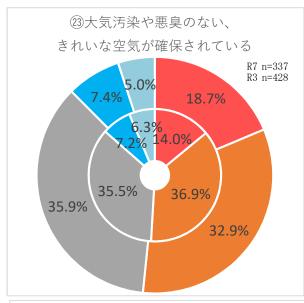


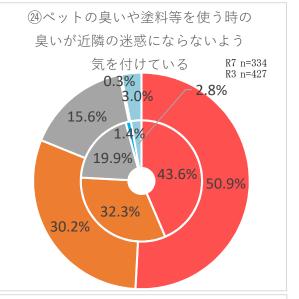


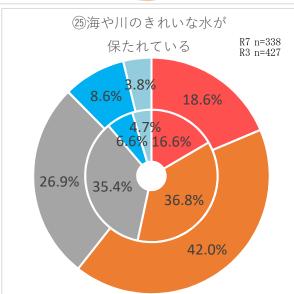


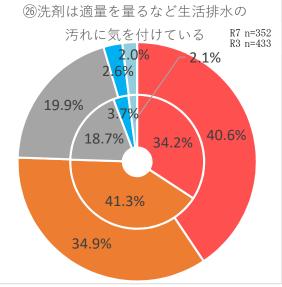
外側:令和7年度調査内側:令和3年度調査

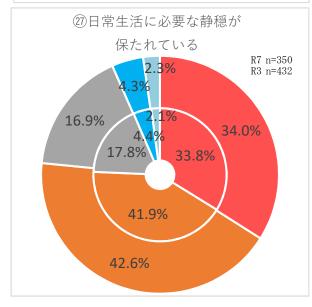
── そう思う ── どちらかといえばそう思う ── どちらともいえない ── どちらかといえばそう思わない ── そう思わない

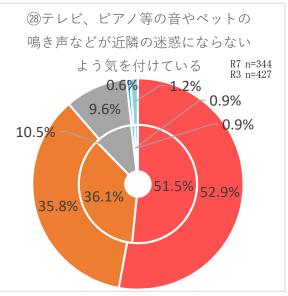






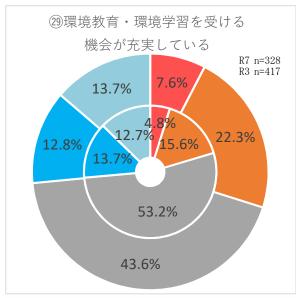


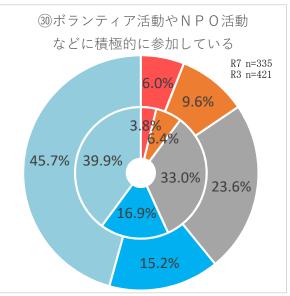


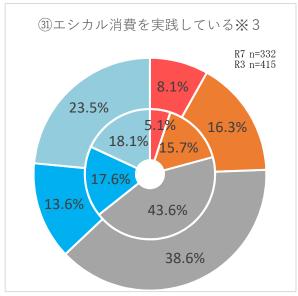


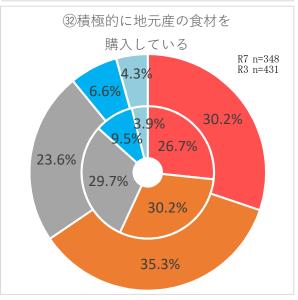
外側:令和7年度調査内側:令和3年度調査

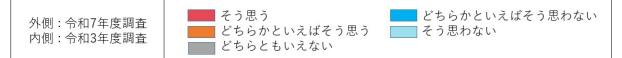
── そう思う ── どちらかといえばそう思う ── どちらともいえない





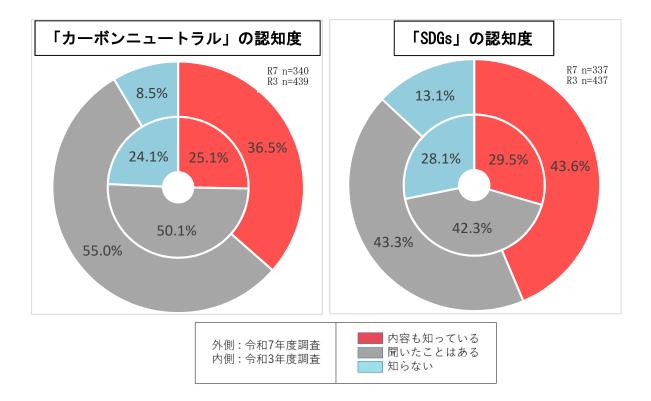






※3 エシカル消費:「倫理的消費」ともいい、フェアトレード商品やエコ商品、リサイクル製品、被災地産品など、人や社会、地域環境に配慮して作られたものを積極的に購入又は消費すること、また、太陽光や風力といったクリーンな自然エネルギーの利用も環境への負荷が少ない消費

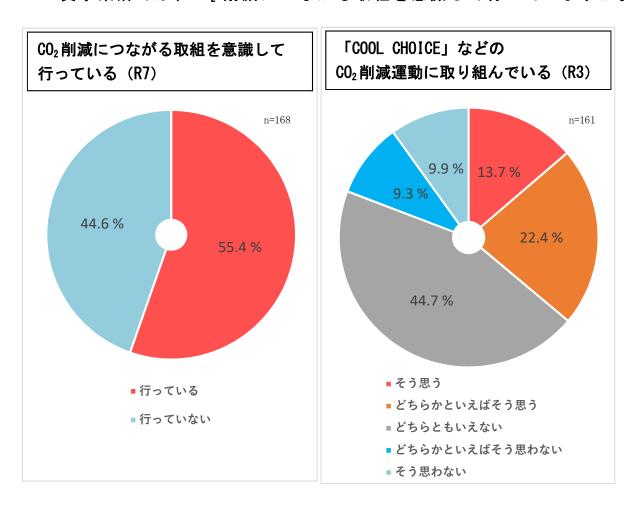
4 あなたは次の言葉を知っていますか。



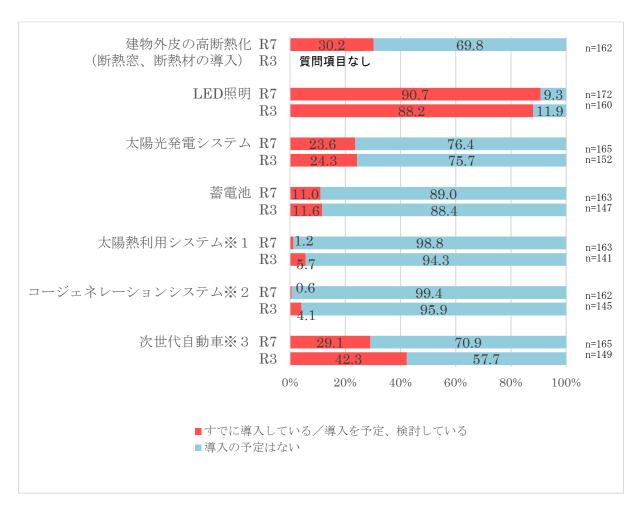
- ※1 カーボンニュートラル: 気候変動対策として、2020 年 10 月、国は 2050 年までに温室効果 ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言した。これは、 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引い てゼロを達成することを意味している。
- ※2 SDGs(持続可能な開発目標):「誰一人取り残さない」ことを理念とし、 持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2030 年を達成年 限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されている。

(2) 事業所意識調査

1 貴事業所では、CO₂削減につながる取組を意識して行っていますか。

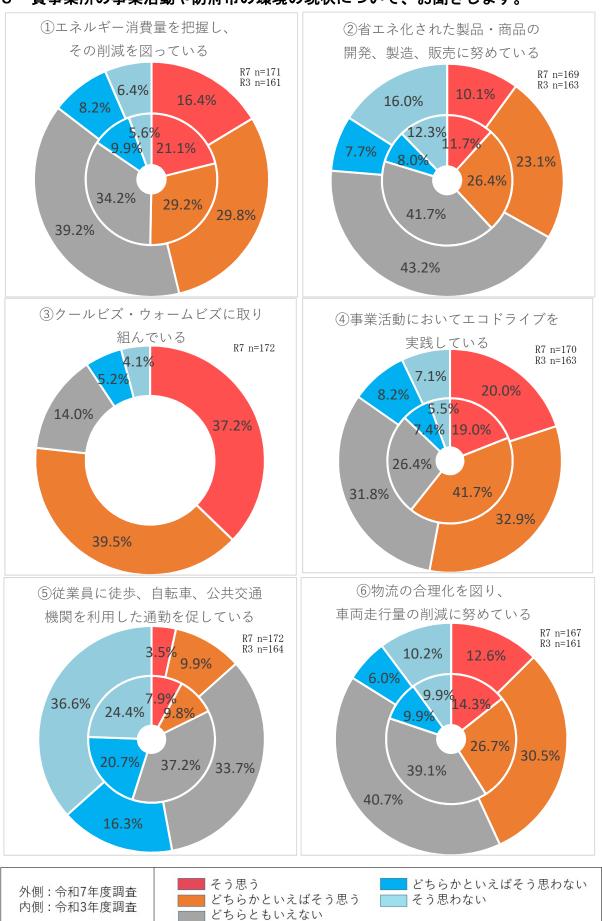


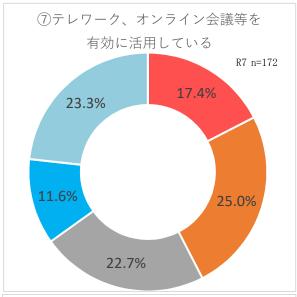
2 貴事業所で、次表の再生可能エネルギーや省エネルギーの設備のうち、導入 している、又は導入を検討しているものはありますか。

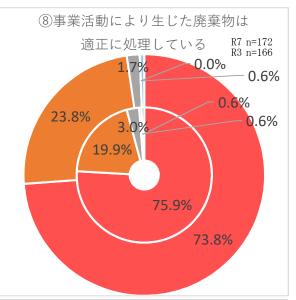


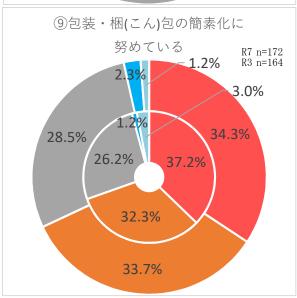
- ※1 太陽熱利用:集熱器、蓄熱槽、熱輸送系、熱交換器、断熱材などの技術を組み合わせて行う、太陽のエネルギーをもとにした熱利用
- **※2 コージェネレーションシステム**:内燃機関(エンジン、タービン)や燃料電池で発電を行い、その際に発生する廃熱も活用するエネルギー効率の高いシステム
- **※3 次世代自動車**:電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料 電池自動車、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

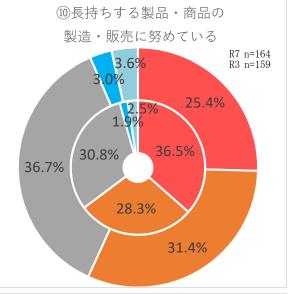
3 貴事業所の事業活動や防府市の環境の現状について、お聞きします。

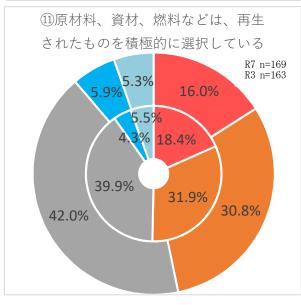


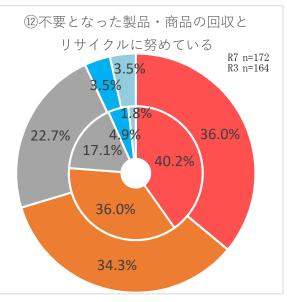




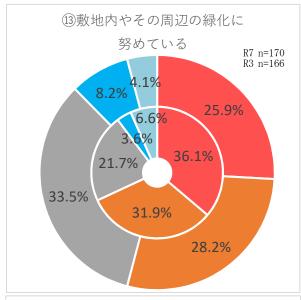


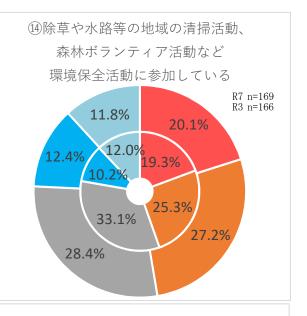


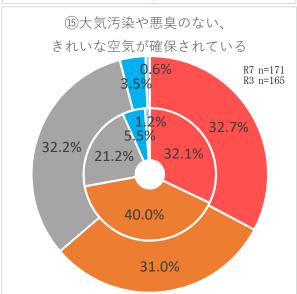


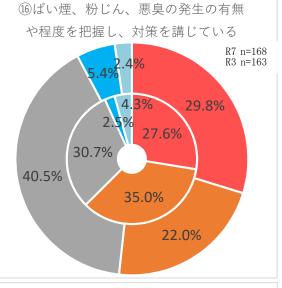


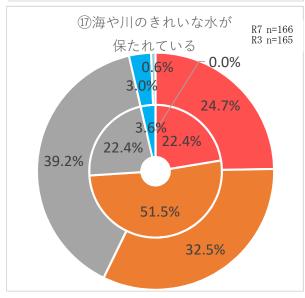
── そう思う── どちらかといえばそう思う○─ どちらともいえない

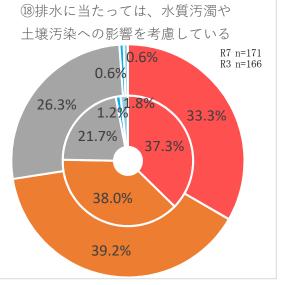




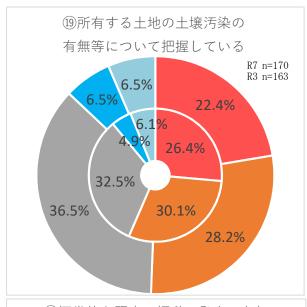


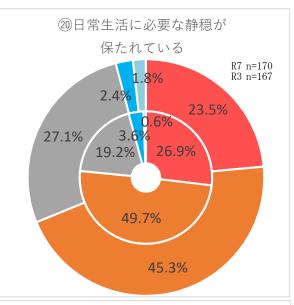


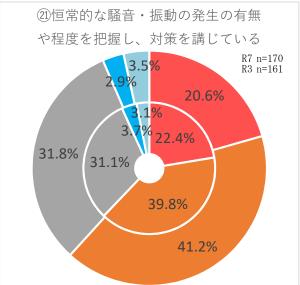


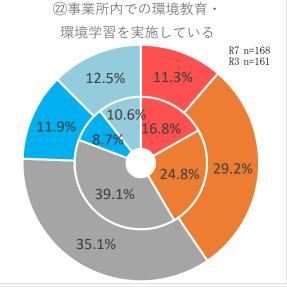


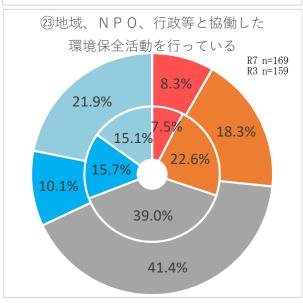
そう思うどちらかといえばそう思うどちらともいえない

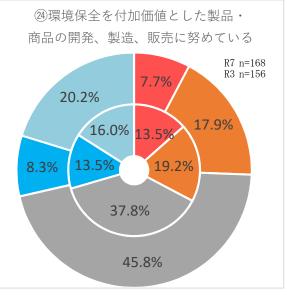












── そう思う ── どちらかといえばそう思う ── どちらともいえない

